

令和5年度 諏訪市小中一貫教育学校 豊田小学校 グランドデザイン

諏訪市の教育理念

誰もが輝き 誰もが幸せ  
新たな時代を切り拓き  
つながり続ける学びの和

【諏訪西中学校区 学校教育目標】

社会の中で 私もみんなも『幸せ』になる

めざす子どもの姿

自分からできる 挑戦しやり遂げる 自分や友、ふるさとを大切にする みんなで高め合う

希望や夢をもち未来を切り拓いていく力 つながり「笑顔」が広がる学校

魅力ある学び・9年間の学び  
の連続～「生きる力」につな  
がる確かな学力～

- ◇「やってみたい」「考えたい」  
を原動力に 問題発見・課題  
解決の力をつける
- ◇身につけた力の実感・活用
- ◇生活科・総合的な学習の時間  
の充実 身につけた力の活用  
教科等横断的な指導
- ◇こつこつタイム（学びの土台  
づくり）
- ◇授業とつながる家庭学習
- ◇学び合い・高め合い
  - ・ペア・グループ学習
  - ・コミュニケーション力・表現  
力・対話力の向上
- ◇個に寄り添った適切な学びの場  
特別支援教育の充実
  - ・多層指導モデルMIMの活用
  - ・個の学びを支えるユニバーサ  
ルデザイン化
- ◇ICTの効果的な活用

人・もの・こと

かかわりの中で発揮される  
気づき・発見・豊かな感性

- ◇すわっこ学習
  - ・地域のひと・もの・ことに触  
れる・かかわる学び
  - 触れる 感じる 考える
  - 働きかける よさの再発見
- ◇創り上げる特別活動
  - 発想力・企画力 相手意識
  - 誰かのために 役に立つ喜び

自分も他も大切にできる 豊かな心と思いやり

- ◇異年齢交流・小小 小中交流
  - ・つながる楽しさ・難しさ
  - ・気配り
  - つながる みとめる 受け入れる
- ◇相手意識に立ったものづくり科  
キャリア教育
- ◇自分と向き合い心を豊かにする  
読書・読み聞かせ・本を読む日

心・身体との対話

- ◇困難にも負けないたくましく  
健康な心と身体
  - ・健康的な生活習慣の定着
  - ・健康教育・食育の推進
- ◇自ら生み出し創造する生活・  
活動
  - ・あきらめずやり遂げる
  - 達成感・自信、次への意欲

- ◇いのちの教育
  - ・防災・安全教育
  - 「自分の命は自分で守る」
- ◇心を磨く道徳・人権教育
  - ・人権週間
  - ・自他の尊重
  - 「認め合い」「支え合い」
  - 「感謝」

安全・安心な学校

非違行為防止 いじめを見  
過ごさない・許さない  
人権感覚 整った学校施  
設・生活環境

学校運営の基盤

地域とともに歩む学校～おらが学校・子どもは地域の宝～

チーム豊田・保護者との連携・協働

学習支援 クラブ支援 とよだっ子未来探検隊  
さくらの会 花とみどりの会 子ども見守り隊



## 学校づくり発表会資料

令和5年5月22日

諏訪市立中洲小学校

### 1 「いのちの教育」を通して学校教育目標の具体化を

未来創造ゆめスクールプラン 自らを拓き、未来を生きる子どもを育てる

諏訪南中学校区(南部地区:中洲小 四賀小 諏訪南中)施設分離型小中一貫教育スタート

南部教育目標 **自分と友だちを大切にし 夢に向かって あゆむ**

- 南部教育目標を受けて、中洲小学校の学校教育目標は、「たくましく心温かな中洲の子」です。
- 「たくましく」には自ら課題に取り組み自らの力で解決していく粘り強い姿が表現されています。
  - 「心温かな」には相手意識に立って行動し支え合い共に伸びようとする共生の姿が表現されています。
  - 「中洲の子」には地域の自然に思いを寄せ、地域の人々と関わり中洲の一員として生きることを喜びとする郷土愛の姿が表現されています。

学校教育目標に込められたこれらの思いや願いを具体化していくためには、以下の内容を推進することを通して、自己肯定感を育んでいく営みが必要であると考えます。

- ①子どもの生命を守る。
- ②豊かな感性と生きるための基礎力を育む。
- ③ひとり一人が輝き、それぞれの伸びる芽や可能性が発揮される教育活動をすすめる。

私たちは、このように取り組む教育を「いのちの教育」と位置づけて実践をすすめてきました。開校 150 周年を迎える今年度は記念事業実行委員会を立ち上げ、中洲学校同窓会、学校運営協議会、PTAと連携し、記念事業を行うとともに、自他の生命や真理に、自ら触れたり体験したりして、自らを輝かせていく学びの場を重視して豊かな感性と確かな学力を育む教育課程をより一層工夫していきます。子どもの学びの道筋に沿って、思考力、判断力、表現力、探究力、情報発信力などを相互に磨きあっていく中で相手を思い自他を大切にすることを育む知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成していきます。

### 2 三つの柱による「いのちの教育」の実践

中洲小学校では、学校教育目標実現のための柱を「自分づくり」「なかまづくり」「ふるさとづくり」とし、児童の行動目標を「自分のよさを知る」として「いのちの教育」の実践をすすめていきます。

【自分づくり】<自分が好き>自己を知り自己肯定感を育みながら自らの力を高めていく活動

【なかまづくり】<友だちが好き>共に高め合う集団での活動

【ふるさとづくり】<中洲が好き>地域の人と自然との触れあいを通してふるさとへの思いを育む活動

これらの柱をもとに、学校教育目標具体化に向けた活動を企画・構想・実践していきます。



### 3 諏訪市未来創造「あい」プランの推進

(1)「学びあい」プラン (学びの改革と小中一貫)

#### ① 研究推進

- ・研究テーマ「主体的に取り組み、自己の高まりを実感していく子ども」
- ・重点研究3つの部会

#### ② 日々の授業実践

- ・小中一貫教育校の取組の着実な推進、5年生以上での教科担任制実施、小中一貫推進教諭の活用(算数)
- ・南部スタイルを一つの手がかりに、3校で教師の授業観や授業スタイルの共通化や、子

#### 図書館教育部会

南信図書館大会  
南部中学校区南部3重点読書  
調べ学習の充実  
ICT機器の活用  
風樹文庫(すわっこ学習)

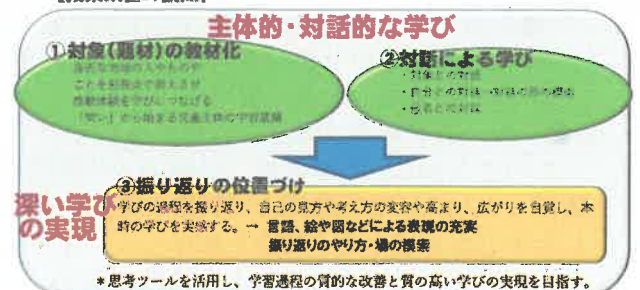
#### 学力向上部会

国語・算数  
読書算タイム(ドリルの時間)  
小中一貫教育の視点  
(南部スタイル)

#### ICT教育部会

日々の授業や生活の中での活用  
授業実践  
(プログラミングなど)  
職員研修  
小中一貫教育の視点

#### 【授業改善の観点】





もたちの学習スタイルの共通化を目指します。

- ・理科学習・・・「ずれ」を大切に考えた授業
- ・すわっこ学習・・・「ふるさとに学ぶ、ふるさとで学ぶ」を大切にした学習を進めます。重点キーワードである「ふるさとづくり（中洲がすき）」ふるさとに学び中洲に誇りをもつ子につながる活動。風樹文庫との関わる学習活動。
- ・ものづくり教育・・・図工科や生活科、総合的な学習の時間などと組み合わせながらの製作活動。相手意識を大切に、自己肯定感を育む教育活動。
- ・個人課題（テーマ）の設定と一人一公開

## (2) 認め合いプラン（不登校支援といじめ防止）

### ①不登校支援

- ・校内体制の充実（早期発見、早期支援。記録の蓄積をし、児童理解を深め、個に応じた支援。）
- ・関係機関との連携（「すわ☆あゆみステーション」不登校支援コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）
- ・学びの場の拡充・・・オンラインの活用、中洲サロンへのホットスペースの設置

### ②いじめ防止

- ・校内体制の充実（「中洲小さいじめゼロ宣言」等を活用した生活の見直し、年6回のアンケートの活用）
- ・関係機関との連携（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー）

## (3) 支えあいプラン（インクルーシブ教育の推進）

- ・校内体制の充実（教育的ニーズに応じた支援体制）・・・医療ケア、外国籍児童支援
- ・幼保、小、中の連携、関係機関との連携
- ・通常学級における特別支援教育（ユニバーサルデザインの視点による授業づくり）

## 4 コミュニティ・スクール

子ども・教師(学校職員)・PTA・地域の方が学校運営協議会の活動を通して支え合う人間関係を築き、子どもの力・教師の力・PTAの力・地域の力を高め、より充実して教育活動ができることをめざします。三校それぞれの活動を充実させて、つながっていきます。

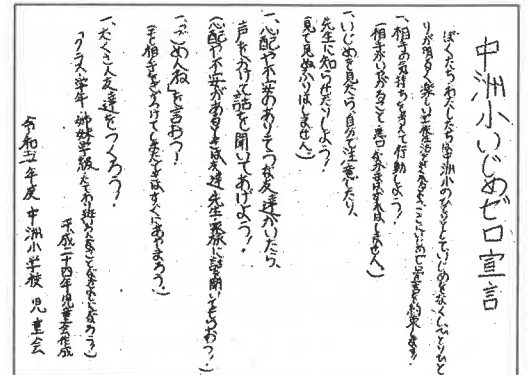
- ① 学習支援部会：・ミシン学習で安全な使用の支援・ローマ字の学習支援・書写学習の支援・理科の学習支援・地域学習講師など
- ② ものづくり部会：「中洲クラブ」と呼ばれ、PTAや地域の方々のご協力をいただきながら運営されている子どもたちのための農業体験クラブ。「異年齢集団での活動」「自然や中洲の特徴を生かした活動」「地域の方々と共に行う活動」を柱とし、人や自然との交流・活動を通して子どもたちの豊かな学びを育むことをねらいとしている。
- ③ 交流部会：「6年生と1年生が交流して行うカリンの活動」の支援など
- ④ 施設支援部会：「ふれあい農園」や「校庭土俵」などの整備など
- ⑤ PC支援部会：PCを使ってプログラムの基本となる論理的思考の学習支援など
- ⑥ 安全教育部会：毎日の登下校の安全指導（キョロブラ活動）をはじめ「1年生の防犯教室」「避難訓練」や「交通安全教室」などの安全指導に関わっての献身的なサポート
- ⑦ コロナ禍で始まった高齢者との手紙交流を今年度行う予定です。

## 5 働き方改革を進めます

「先生達が幸せなら、子どもたちも幸せになる」2月に行われた中洲教育を考える会での保護者からの発言です。「生き生き×やりがい職場調査」(2022年7月8月実施)の結果から中洲小の教職員について次のことが分かりました。

- 働きがいがあり、情熱を持って仕事に取り組んでいる。
- 管理職等からのサポートも厚く、組織風土も非常良い。
- お互いに尊敬しあえる職場で、仕事や家庭への満足感もある。
- その一方で非常に大きな負担を感じていて、心身の健康面で全体平均を大きく下回る。

このことから、今年度は「計画的5時間授業日」を年間14日設け、放課後にまとまった時間を確保しました。この時間を「研修の時間」「教材研究の時間確保」「勤務の割り振り日」とし、充実した子どもと向き合う時間を確保して、有効活用することで教職員の負担軽減を図り、教職員と子どものウェルビーイング向上を目指します。



## 令和5年度 湖南小学校グランドデザイン

### 学校教育目標 社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる

#### めざす子どもの姿

##### 励む子

- ① 興味をもって調べ、自分の言葉で発表できる湖南の子
- ② 友達とわかり合い、ともに励まし合う湖南の子
- ③ 地域の人々の姿に学び、感謝やあこがれをもつ湖南の子

#### 本校児童の良さと課題

##### 〇よさ

- ・素直で純朴である
- ・仲がよく、助け合って協働的に活動している
- ・お互いをよく知っていて、友達の個性に理解がある

##### 〇課題

- ・主体的に考えて発言したり、動いたりすることが苦手。

#### 諏訪西中学校区児童生徒の良さと課題

##### 〇よさ

- ・いろいろな人の立場に立って考えることができる
- ・コミュニケーションを大切にして、友達と協働できる

##### 〇課題

- ・見通しをもって計画的に行動することが苦手
- ・意見の違いや理解のくい違いを解決することが苦手

#### 重点 1

#### 自分の言葉で表現する

- ◎子どもたちが、「やりたい」、「学びたい」と願ったことを実践する授業
- 〇「ねらい」「めりはり」「みとけ」がある授業
- 〇文房具としての、ICT機器の効果的な活用
- 〇子どもたちによる学んだことの発信
- ◎子どもたちが「わかる」授業、「楽しい」と感じる授業
- 〇自分から取り組む・調べる・考える時間の確保
- 〇1時間の授業の流れがわかる板書方法の共有
- ◎自分の考えに自信がもてる活動
- 〇ペア学習・グループ学習による情報交換
- 〇伝え合う学習の楽しさを実感する
- 〇あきらめずにやりとげる

#### 重点 2

#### 友達とわかり合う

- ◎自分や友達を認め、共に成長する子どもたち
- 〇小小・小中交流による、つながるよさの実感
- 〇異年齢活動による、お互いに支え合い、助け合う心の育成
- 〇人が関わる基本としてのあいさつ
- ◎考えの違いや価値観の違いを解決していく子どもたち
- 〇心を育てる「特別の教科 道徳」
- 〇いじめや差別を許さない「人権教育」
- 〇心を豊かにする読書活動
- ◎多様性を認める特別支援教育の充実
- 〇個に応じた適切な学びの場
- 〇コグトレ(認知トレーニング)・MIM(多層指導モデル)の活用

#### 重点 3

#### 地域の人に学ぶ

- ◎生活科・総合的な学習の時間の充実
- 〇自分・友・ふるさとを大切にする学び
- 〇地域に関わり、地域に触れ、地域のよさを実感する「すわっこ学習」
- ◎誰かのために役に立つ喜びを感じるキャリア教育
- 〇地域の人々の営みを知る、地域探検、社会科見学
- 〇作るものと作る思いを、人へとつなげる、相手意識に立つものづくり科
- 〇キャリアパスポートを通して、自分の未来を見つめる
- ◎命を守る、防災・減災教育
- 〇地域に生きる自分にとっての、貴重な体験の場とする。
- 〇地域に起こりうる災害を具体的に知り、自分の役割を考える。

#### 【学力向上のために】

##### I 授業改善

- ①学習に望む意欲がもてる授業
- ②対話によって課題追究ができる授業
- ③自分の考えを言語活動によって伝え合う授業
- ④湖南小ユニバーサルデザインにより、学ぶ楽しさを感じられる授業

##### II 子どものための働き方改革

- ①子どもと関わる時間の確保、教材研究のための十分な時間の確保
- ②やりがいの自覚、自分の授業がよくなっていく実感
- ③校内、校外、自らの希望等による研修の積み重ね

#### 地域との連携

- ・湖南地区防災連絡協議会との連携
- ・公民館、なかよし広場、博物館等との連携
- ・森林組合との連携(火とぼし山 等)

#### 湖南小 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

- ・湖南の子と共に歩み、共に育てる
- ・あいさつ、学びの環境、を通して育てる
- ・「花まるこなみ」「環境支援グループ」
- ・「おはなしぼくら」「ふれあい農園グループ」
- ・「キョロキョロプラブラ」「地域ふれあい活動グループ」

## 学校教育目標

社会の中で、

私もみんなも「幸せ」になる



児童数 275名  
学級数 19  
職員 40名



### 《めざす子どもの姿 ①》

興味をもって調べ、

自分の言葉で発表できる湖南の子



### 《めざす子どもの姿 ②》

友達とわかり合い、

ともに励まし合う湖南の子



### 《めざす子どもの姿 ③》

地域の人の姿に学び、

感謝やあこがれをもつ湖南の子



地域の人の姿を見て 感謝の気持ちが育つように



自分・友・ふるさとを大切にできる心が育つように



5月22日（月）



# 上諏訪小学校 学校づくり発表会

## 小中一貫 新たな取組



交流活動 烏骨鶏のふれあい体験を企画



交流活動 児童会・校友会合同企画 あいさつ王に俺はなる！

## 令和4年度を振り返る



PTA コミュニティ 上諏訪小御柱開催

令和5年度 日課表 諏訪市立上諏訪小・中学校

小学時時刻	日曜	月	火	水	木	金	日曜	中学校時刻
開門 7:30								
8:15~8:25	朝開講					朝開講	8:10~8:25	
8:25~8:35	朝の会					朝の会	8:25~8:35	
8:35~	あゆみ	朝の会					朝開・朝会 (15分)	
8:50~9:35	1校時	1	7	13	18	24	1校時	8:45~9:35
朝開・朝会 (15分)								
9:45~10:30	2校時	2	8	14	19	25	2校時	9:45~10:30
10:30~10:50	休み時間						休み時間 (20分)	
10:55~11:40	3校時	3	9	15	20	26	3校時	10:50~11:40
朝開・朝会 (15分)								
11:50~12:35	4校時	4	10	16	21	27	4校時	11:50~12:40
12:35~13:25	給食						給食	
13:40~13:55	清掃	13:40~14:55 朝の会					5校時	13:35~14:25
14:05~14:50	5校時	5	11		22	28	朝開・朝会 (15分)	
朝開・朝会 (15分)								
15:00~15:45	6校時	6	12	18:00~18:15 朝の会	23	29	6校時	14:35~15:25
朝開・朝会 (15分)								
15:45~16:00	朝の会						朝開・朝会 (15分)	
16:10	下校						朝開・朝会 (15分)	
16:50	下校						朝開・朝会 (15分)	

昨年度、2年生が飼育していた烏骨鶏とのふれあい体験を企画し、そこに中学生が来てくれました。

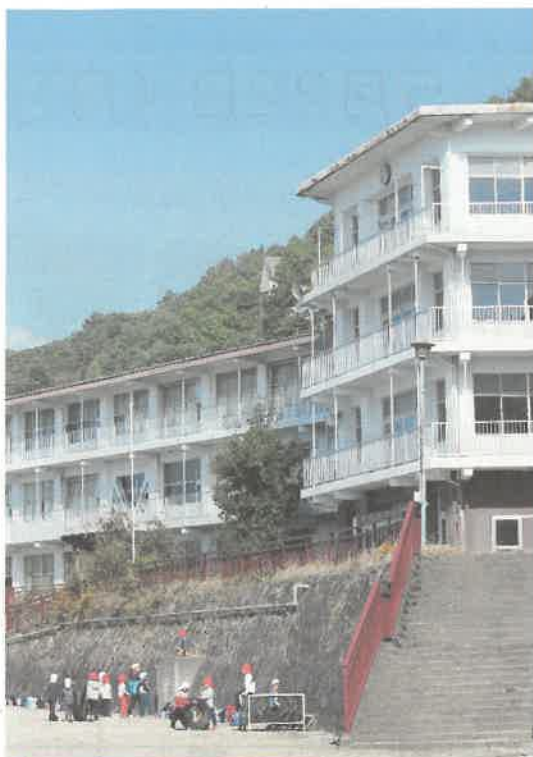
このことをきっかけに、今年度はもっと交流がしやすいように両校の教務主任が小中の日課がそろそろように工夫してくれました。

さらに児童会・校友会の共同企画も進んでいます。年度当初の小中合同職員会では、「子どもたちのアイデアをできるだけ実現していこう」ということが確認されました。



諏訪の文化である御柱を体験させたい、地域が大切にしていく祭りを次の世代に伝えたいという願いのもと、PTA会長の発案で「上諏訪小御柱」が計画されました。実行委員会にはPTAだけでなく、趣旨に賛同した地域の方やコミュニティスクールのボランティアの方も参加。区長さんの協力による市道の交通規制や木遣保存会の方々による子どもたちへの木遣指導など、本格的な活動が展開されました。





地域を学ぶ

すわっこ学習の日



1日地域に出て、地域を学ぼうという日をつくりました。名付けて「すわっこ学習の日」

1年生は城北小学校へ、6年生は諏訪湖一周、それぞれの学年学級で自由に計画を立てて地域を学びました。

R5年4月には、職員も「すわっこ学習」地域に出かけて、写真を撮ったり、「子どもたちとこんな学習ができるんじゃないか？」と考えたりしました。

## 統合3年目 子どもの声

### 「小学校合併 増えた友だち」 上諏訪小学校 6年生

令和3年に市内の小学校が合併して、上諏訪小になりました。私は合併して良かったと思います。

一番の理由は友だちが増えたことです。前の学校では、私の学年は10人で友だちが少なかったからです。仲が良かった友だちとクラスが別になってしまったけれど、隣のクラスなので、そんなにさみしくありませんでした。

二つ目は友だち関係を学べたことです。10人だけだとみんななかよしでもめ事ありませんでした。合併したらめ事がありました。繰り返していくうちにだんだんともめ事の解決の仕方が分かりました。

そして体力がついたことです。家から学校までは片道40分ほどかかります。大変だけど毎日頑張って歩いたら体育のシャトルランが3年生の時は37回だったのが、5年生で67回に増えました。これからも続けることでもっと体力がついたらうれしいです。

少子化が進んでいて、合併する学校も増えると思います。大人にとっては自分の通っていた学校がなくなってしまうことは、とてもさみしいことだと思います。けれど、今回私が体験したことから、学校の合併はいい学びの機会にもなると感じました。

5月9日信濃毎日新聞掲載作文

**学校教育目標**

**自ら学び 認め合い 未来を創る子ども**

**【自ら学び】**

① 研究部会「図工・ものづくり」「道徳・人権」「算数」を中心とした、職員の研究・研修の場

- ・「図工」（教育課程）～学習指導の基本の見直し
- ・「ものづくり」（重点校）～相手意識を持って試行錯誤できるものづくり
- ・「道徳・人権」（学校人権教育連絡協議会）～諏訪中との連携も意識して
- ・「算数」（個別最適な学び研究）～単元内自由進度学習の研究

② 日課の工夫 ～継続して着実に学力を 伸ばすモジュール学習の実施～

- ・金曜日を、全校5時間授業とする。（下校 15:00）
- ・金曜日の6時間目にあたる時間を、月・水・金曜日の朝15分×3日分で補填する。（モジュール学習）

③ 5・6年生「教科担任制」の実施

**【認め合い】**

④ みんなが安心できる学校 ⑤ 多様な個性を受け入れ合う



6年生と1年生のともペア  
活動「おおなわの練習」

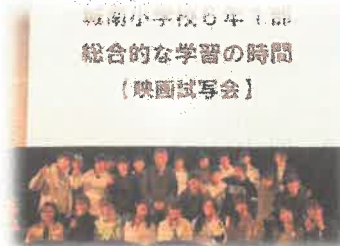
**【未来を創る】**

⑤ 児童会活動の創意工夫 ・諏訪中との合同企画の実施。10の委員会が、諏訪中との合同企画を計画、実施する予定



5月15日～、諏訪中・城南小・ボランティア  
の皆さんのコラボで、「あいさつ週間」

⑥ すわっこ学習・ものづくり科の充実



⑦ 城南小・諏訪中合同学校運営協議会

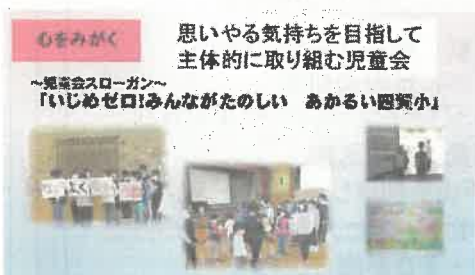
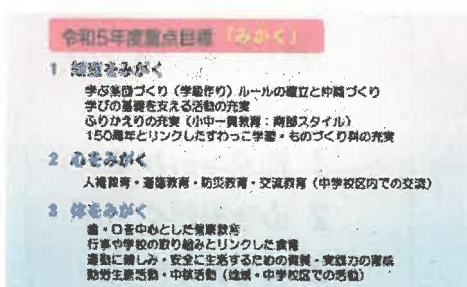
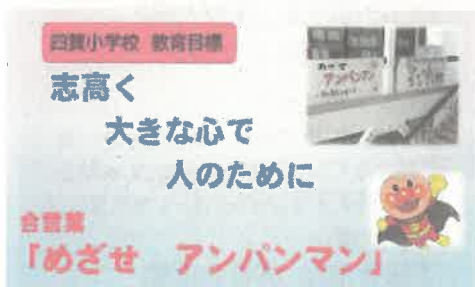
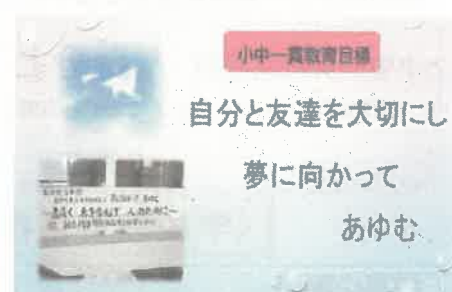
⑧ 城南小学校ともそだち応援隊



昨年度の活動を見て、「わたしたちもあんな学習をや  
りたい」という雰囲気が生まれています。

熟議「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」  
小グループで話し合いました。









# 令和5年度 四賀小学校グランドデザイン

諏訪市小中一貫教育理念に基づき

小中一貫教育目標 「自分と友だちを大切にし 夢に向かって 歩む」

基本理念「もの・ひと・こと」との関わりを深め、ふるさとを大切にしながら、自分の夢に向かってチャレンジする子ども

3重点： あいさつ 読書 健康（命と心を大切にする）

〈学校教育目標〉 志高く 大きな心で 人のために

## 校長の願い

「めざせアンパンマン」  
愛と勇気をもつ子・あたたかな学校  
ふるさとの人・もの・ことを大切に  
し、夢やあこがれを持ち、学び合い  
成長し合える学校

### めざす児童像

- 自分を見つめ、自分を支えてくれる全ての人やものごとに感謝できる子ども
- 友とつながり、友のよさに学び、互いに高めあう子ども
- ふるさと(諏訪市)に学び、自分のよさを活かしながらチャレンジする子ども

## 重点取組

### 『みがく』

- 1 知恵をみがく
- 2 心をみがく
- 3 体をみがく

## 諏訪市教育振興基本計画

つながり続ける 学びの和

未来創造「あい」プラン

～3プラン～

学びあいプラン 学びの改革と小中一貫  
認めあいプラン 不登校対策いじめ防止  
支えあいプラン インクルーシブ教育推進

～3重点～

- ①読書活動・読書会活動
- ②人権・平和教育の充実
- ③地域一帯の防災・安全教育

知恵をみがく

体をみがく

知識・技能

- 学ぶ集団づくり(学級づくり)
- ・学習ルールの確立と思いやる仲間作り
- 学びの基礎を支える活動の充実
- ・業間ドリル(四賀っ子タイム)の着実な運用
- ・MIMを使った読みの指導
- ・朝読書の確実な運用
- 振り返りの充実(南部スタイル 板書の活用)
- ・自分の言葉で書く時間と習慣の定着

- 歯・口を中心とした健康教育
- ・地域・保護者と連携した日常指導
- 行事や学校の取組みとリンクした食育
- 生涯にわたり運動に親しむ資質の育成
- 安全に生活できる実践力の向上

- ・総合を軸としたカリキュラムマネジメント
- ・重点研究(図書館教育・人権教育・学力向上)
- ・職員研修(非遵行為防止研修・授業研究)

- ・学年担任制、教科担任制の試行
- ・ICTを生かした授業研究
- ・外国語・プログラミング教育の研究

思考力 判断力 表現力等

- 総合を中心にした探究
- ・問題解決的思考の育成
- すわっこ学習の充実・ものづくり科の充実
- ・総合とリンクした取り組み **150周年**
- キャリア教育
- ・ふるさとの人・もの・ことに生き方を学ぶ

- 勤労生産活動・中核活動
- ・田畑、神戸山を利用した年間を通じた探究的体験的学習 また、**中学校区での活動**
- 気づき清掃・10秒振り返り
- ・自分の心に問いかける気づき清掃

心をみがく 学びに向かう人間性

- 人権教育・道徳教育・防災教育・交流教育
- ・命、生き方、人間性を育む全教育活動の基盤としての教育 **・中学校区内での交流**

特別支援教育

- ・生活単元、自立活動の充実
- ・インクルーシブ教育への志向
- ・多様性を包み込む関係づくり

国型コミュニティスクール

- ・地域と手を携え、地域の子どもの地域と育てる。
- ・「ちょボラ」の活性化
- ・**学校運営協議会の運営**

## 職員の決意

- (1)子ども理解:子どもの小さな変化や知性の萌芽に気づき、その尊さを大切に喜びとする教師。
- (2)いじめの兆候を見逃さない・不登校児童は増やさない:職員一同が、一人ひとりの児童に目を配り児童の兆候を把握するとともに、子ども、保護者の声に耳を傾け、チームで解決に導くよう努める職員
- (3)非遵行為は絶対に起こさない:地域・保護者・子どもの信頼を裏切らず、子どもと真摯に向き合う職員。



## 諏訪西中学校

学校づくり発表会

90%の生徒が力がついたと感じた力

④色々な人の立場で考える力

諏訪西中学校区 教育目標  
諏訪西中学校の教育の目的＝最上位の教育目標

社会の中で、  
私もみんなも  
「幸せ」になる

④色々な人の立場で考える力  
③自他を価値ある存在として認める力  
⑤感情をコントロールすることができる力



社会の中で、私もみんなも「幸せ」になる

そのために

諏訪西中でつけない力  
本校が目指す9つの生徒像

20%以上の生徒が力がついたと感じなかった力

②見通しをもって計画的に行動する力

⑧意見の対立や理解の相違を解決する力

- ①自らできる
- ②見通しをもって計画的に行動する
- ③自他を価値ある存在として認める
- ④色々な人の立場で考える
- ⑤感情をコントロールすることができる
- ⑥善悪を踏まえ建設的に主張、行動する
- ⑦信頼できる情報や知識を集め、使いこなす
- ⑧意見の対立や理解の相違を解決する
- ⑨コミュニケーションを大切に、他と協働する

全体として

- ・人との関わりが増えるとともに、見方や考え方が広がり、力をつけてきている。
- ・継続して取り組み、見返して積み重ねる力は、すぐには自覚しにくいですが、失敗を含めた経験の積み重ねが、力につながると思われる。

9つの力 昨年度を振り返ると・・・

- ・ほとんどの力について、80%以上の生徒が力がついたと感じた。

今年も引きつづき・・・

力をつける重点

他者意識

85%以上の生徒が力がついたと感じた力

③自他を価値ある存在として認める力

⑤感情をコントロールすることができる力

「相手意識に立つものづくり科」



他者意識の感じられる授業  
「発表」「説明」場面がある授業を

- 根拠をもって考え
- 工夫して説明する
- 説明できる根拠を蓄える

学習がしづらい生徒が「幸せ」を求められるように

- 認知機能トレーニング
- 授業形態の工夫※
- 板書形式の共通化※
- 個別支援の充実



「交流学习」学校外の人との触れ合い

- 高齢者施設訪問（停止中）
- 乳幼児との触れ合い（停止中）
- ふるさと学習
- 地域密着型ものづくり講座
- 小学生への読み聞かせ（検討中）



学習がしづらい生徒が「幸せ」を求められるように

わかった、  
これならできそう。 → 「幸せ」を感じる  
他者と関わる意欲へ

他者意識の感じられる授業  
授業の工夫 小中一貫教育でも

- 4人組で自分の考えを伝え合う時間※
- 板書形式の共通化※



友達が作りづらい生徒が「幸せ」を求められるように

- 場面 場面で他の人の立場で考える教育
- 道徳や人権教育で気持ちのよい関係づくりに触れる
- 相手意識に立つものづくり科

引き続き

困難さを抱えている生徒が「幸せ」を求められるように 他者意識に寄りそって

- 登校しづらい生徒が「幸せ」を求められるように
- 学習がしづらい生徒が「幸せ」を求められるように
- 友達が作りづらい生徒が「幸せ」を求められるように

友達が作りづらい生徒が「幸せ」を求められるように

気持ちよい反応が  
返ってきたら → 他者から  
「幸せ」を感じる。

登校しづらい生徒が「幸せ」を求められるように

- 外部機関との連携
- 支援会議の充実
- 人権教育、道徳の充実
- 校内中間教室
- 教室以外での授業学習の試み
- タブレットの授業配信

校外、地域の力をおかりして

社会(地域)の中で、  
私もみんな(地域の皆様)も  
「幸せ」になる

西山の子どもたちへの  
地域の方々の思いをお伝えください。

登校しづらい生徒が「幸せ」を求められるように

他者と  
関わりながら → 「幸せ」を感じる  
生活の充実



小中一貫教育 南部3校教育目標

「自分と友だちを大切にし、夢に向かって歩む」

南中生のあい（愛）言葉

「感謝・協調・創造」～夢叶えるまで挑戦～

I 未来創造「あい」プラン への取り組み

本校の総合的な学習の時間（ふるさと学習・諏訪学）

通称：「ゆめかなタイム」南中から諏訪を元気に

★体を動かし、頭を働かせ、心で感じる「ゆめかなタイム」

1年…もう一度諏訪を知ろう【再発見・新発見】

2年…五感をフル活用【魅力堪能・課題発見】

3年…実社会に飛び出す【問題解決・社会貢献】

足で学ぶ・人に学ぶ＝本物にふれる

その魅力、工夫や努力、厳しさにふれる（知る）

⇒ 「主体的・対話的で、深い学び」

II 相手意識に立つものづくり科 の取り組み

1年…家庭科・裁縫（布製品づくり）

2年…かりんの学習・商品化（？）

3年…技術科・木工（遊べる木工作品）

諏訪市チャレンジショップ2023への参加

小学生にどんなものがほしいか等調査 ⇒ 製作 ⇒ 小学生にプレゼント（計画中）

III コミュニティースクール の取り組み

昨年度「かりんの会」設立

・地域ボランティア（岩波会長・関アドバイザーら）

・CSコーディネーター（馬淵さん・實吉さん）

・生徒、保護者ら有志

収穫したかりんを

・できれば商品化を試みて販売（？）

・南中スペシャルかりんジャム ⇒ 給食で堪能したり、あるいは・・・

・消毒作業  
・摘果、袋かけ  
・収穫、選別作業

IV 特別支援教育・インクルーシブ教育 の取り組み

・相談教室Ⅰ組～Ⅴ組

・中間教室（教員①+学習支援員①：2名体制）

・カウンセリングルーム（県SC & 市SC）

・フリートークルーム（2教室設置…1・2階）

・通級教室（週3回、サテライト教室）

・日本語指導教室（中洲小から2名の先生来校・指導）

原学級との  
「つながり」を  
大切にしながら

すべての子どもたちが輝ける学校へ

生徒も職員も「夢叶うまで挑戦」



## R5 諏訪南中学校グランドデザイン

### 《 諏訪市の教育理念 》

誰もが輝き 誰もが幸せ 新たな時代を切り拓き つながり続ける学びの和

#### 学校の使命(小中一貫教育 未来創造「あい」プラン)

○登校・適応支援といじめ防止(認めあい)

○インクルーシブ教育の推進(支えあい)

○学びの改革と小中一貫教育(学びあい)

#### 保護者・地域の願い

- ・笑顔で楽しい学校生活を送ってほしい。
- ・学力と体力を身につけてほしい。
- ・いじめのない安心な学校であってほしい。

### 南部3校(四賀小 中洲小 諏訪南中) 小中一貫教育 学校教育目標

【自分と友だちを大切にし 夢に向かってあゆむ】

#### 目指す子どもの姿

- I 自分を見つめ、自分を支えてくれる全ての人や物事に感謝できる南部の子(感謝)
- II 友とつながり、友のよさに学び、互いに高めあう南部の子(協調)
- III ふるさとに学び、自分のよさを活かしながらチャレンジする南部の子(創造)

南中生のあい(愛)言葉 「感謝・協調・創造 ～夢叶うまで挑戦～」

#### 教育重点1

○生徒も教師も課題意識をもち、生き方や学びを自己更新する学校

(1)生徒と教師で創る授業

- ・主体的な学習にするために、追究の見通しがもてる。
- ・生徒自身が「問い」を創ることができる。
- ・すべての教科で話し合い活動の充実を図る。
- ・授業や単元の終末で学んだことが自覚できる。

(2)自己肯定感や自己有用感が実感

できる総合的な学習「ゆめかなタイム(諏訪学)」や「ものづくり学習」

(小中交流/地域連携)

(3)自主的な家庭学習の充実化

#### 教育重点2

○生徒も教師も自己肯定感や自己有用感が高まる学校

(4)教師と生徒、生徒同士の信頼関係を築く(挨拶・教育目標の共有・道徳)

【小中交流・地域交流の可能性】

(5)「わくわくタイム」の充実

(6)命や心身の健康の大切さを自覚できる健康教育と防災教育

(7)豊かな食生活と感謝の気持ちを育てる食育

(8)小学校や地域とつながる生徒会

(9)「読書」「清掃」で育む豊かな心

※ 総合的な学習「ゆめかなタイム(諏訪学)」や「ものづくり学習」で自己実現を目指す(教育重点1再掲)

#### 教育重点3

○生徒一人ひとりが尊重され、安心な居場所である学校

(10)保護者や地域との連携による特別支援教育・通級教室

(11)適応支援(校内中間教室運営)と日本語支援の充実

(12)学級経営と教科指導に生きる人間関係検査(アセス)の結果共有

(13)「生徒へ寄り添う」ための情報共有とチーム支援

(14)年3回の「相談週間」の実施(生徒/保護者対象)

(15)生徒と保護者による学校評価の分析と改善

(16)国型CS「学校運営協議会」からの助言

#### 目指す教師像

「本立而道生(もとたちてみちしょうず) 物事の根本が確立すれば、自ずと道は開ける」

生徒一人一人が「もの・ひと・こと」との関りを深め、今ある自分を見つめながら自己肯定感や自己有用感を高めることのできる学校を目指したい。そのために、生徒、保護者の「喜怒哀楽」を受け止め、生徒と共に学ぶ存在である教師集団を目指す。

①各学年ですべての生徒と教師が関わるゆるやかな学年担任制

(道徳授業、学活、読書、給食、清掃、わくわくタイム、ゆめかなタイムなど)

②生徒や保護者の喜怒哀楽を受け止め、寄り添い、共に歩む教職員

(生徒や保護者の相談に応える教師)

③生徒のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教職員集団になるための、職員会議・学年会・教科会(問題解決に方向性の出せる集団)

④教育に対する情熱と使命感を持ち、研究と修養(研修)に努め、向上意欲をもつ教職員

(小中一貫南部3校の教師研修交流)

⑤組織人として責任感と協調性を有し、服務規律の厳守・綱紀粛正に努め、信頼を得られる教職員(非違行為の根絶)



＜校訓＞ 真理の追求 自主自律 質実剛健  
 ＜学校教育目標＞ 自らを拓き 未来を生きる

1 令和4年度のアンケート結果より（抜粋）

・学校で学習したことがわかっている	89%（保護者）	97%（生徒）
・工夫して自主学習に取り組んでいる	79%（保護者）	88%（生徒）
・地域のためにできる活動を考えている	70%（保護者）	73%（保護者）
・相談しやすい先生がいる	90%（保護者）	86%（生徒）

昨年度の学校評価アンケートの結果、上記のようになった。結果をもとに、成果や課題を精査し、今年以下のように学校経営の重点を策定した。

2 令和5年度の学校経営の重点とその具体的内容

＜目指す学校像＞

- 自治の気風にあふれ、生徒が判断し行動する機会が多い学校
- 高い人権意識のもと、自分や他者を尊重しながら協働して取り組める学校

＜目指す姿＞ 上中プライドのもと

- 生徒 … 言語や情報、技能を使いこなす  
感情をコントロールできる  
目標に向かい専心して取り組む  
他者を尊重した主張ができる
- 教師 … 授業が根幹 道一筋に研鑽  
豊かな発想 創意工夫  
生徒の目線に立ち、率先垂範  
保護者、地域の方とともに汗を流す

【令和5年度の重点】

(1) 自律した学びで力をつける授業

① 主体性を育む“問いのある授業”“楽しい授業”（教師から課題を与えるだけの授業からの脱却）

- ア プランニングタイム・家庭学習
- イ 教科・教育相談
- ウ ICT活用
- エ 小中学校ジョイントカリキュラム（授業実践）
- オ 授業の5原則
- カ 全職員による授業研究・指導法研究・教材研究・評価研究

② 探究的な学び

- ア 諏訪学
- イ 「手長丘プロジェクト」（総合的な学習の時間）SDGsにつながる諏訪発進の具体的な活動

③ 学習評価

(2) キャリア発達を促す自治活動

① 学級活動

- ア 学級の諸問題を解決する活動
- イ 学級生活をよりよくするための係決めや係活動
- ウ 目的をもった校外活動
- エ 進路学習
- オ 食や健康に関する学習

② 学校・学年行事

- ア 音楽会
- イ 自然体験学習・諏訪工業メッセ（1年）
- ウ ハヶ岳登山・上中キャリアメッセ（2年）
- エ 修学旅行（3年）

③ 校友会活動

- ア 諏訪湖清掃
- イ ニッコウキスゲ植栽
- ウ 子ども食堂ボランティア
- エ 上諏訪小と連携した行事（読み聞かせ、合同校友会、運動会、音楽会）

④ 上中アフタースクール

- ア 部活動
- イ 上中サークル

(3) 多様性を包み込む相談（サポート、ケア）体制

- ① 学年担任制（全学年）
- ② 相談F（Freeの「F」、Friendlyの「F」）教室



授業風景



キャリアメッセ



諏訪湖清掃



上中サークル募集要項を見る生徒

## 令和5年度 上諏訪中学校グランドデザイン



### 学校教育目標

自らを拓き、未来を生きる

校訓 真理の追求 自主自律 質実剛健



### 諏訪市 未来創造「あい」プラン

すべての児童生徒が認めあい、支えあい、学びあい、  
自分らしく学べる学校づくり・学級づくりに取り組む。  
学びあいプラン・認めあいプラン・支えあいプラン

#### 目指す学校像

自治の気風にあふれ、生徒が判断し、行動する機会が多い学校  
高い人権意識のもと、自分や他者を尊重しながら協働して取り組める学校

#### 目指す姿

##### 【生徒】

言語や情報、知識・技能を使いこなす  
感情をコントロールできる  
目標に向かい専心して取り組む  
他者を尊重した主張ができる

##### 【教師】

授業が根幹 道一筋に研鑽  
豊かな発想 創意工夫 たゆまぬ前進  
生徒目線に立ち、率先垂範  
保護者、地域の方とともに汗を流す

上中プライド  
のもと

## 上中 学びのプロジェクト

生徒・教職員合言葉

〈校友会スローガン〉 伝える 考える 繋がる

### 自律した学び

#### 取組1 日々の授業改善

- ①生徒が学習の目的をもち、理解したことや伸びを実感できる学びのある授業
- 主体性を育む

“問い”のある授業づくり

- ②個別・協働学習の推進・充実、ICT 機器の活用・最適化
- ③小中をつなぐ「ジョイント・カリキュラム」の修正・開発

#### 取組2 自主学習への支援

- ①プランニングタイム
- 自分の学びを自分で構築
- ②授業とリンクした家庭学習
- 知識・技能の確実な習得

#### 取組3 諏訪学の一層の充実

- ①手長丘プロジェクト
- 諏訪をフィールドに探究する総合的な学習の時間の充実
- ②諏訪湖や霧ヶ峰など諏訪の自然、文化、歴史などと結びつけた学び（各教科等）

### 社会と結びついた学び

#### 取組1 キャリア教育の充実

- ①ロールモデルとの出会い
- 本物に触れる上中キャリアメッセなどの充実
- ②キャリアデザイン構築
- ものづくり科での、「人のために」を中心に据えた、相手意識に立つ展開

#### 取組2 校友会活動への支援

- ①生徒の夢が実現する校友会
- 主体的に活動を企画・運営できる協力体制、支援の充実
- ②地域貢献
- 諏訪湖清掃、ニッコウキスゲ植栽活動、子ども食堂参画などのボランティア活動

#### ＜校友会の重点活動＞

- ・本音で語り合える関係づくり
- ・お互いを思いやる関係づくり
- ・生徒・小学校・地域との繋がり

### 個別最適な学び

#### 取組1 サポート体制の充実

- ①学年担任制
- 学級・学年の枠を越え、全ての職員が生徒をサポート・ケア
- ③相談体制の確立・拡充
- 各種アンケートや生活記録、保健室、カウンセラーの利用など、生徒個々の悩みに即応

#### ②心の支援会議の充実

情報・指導方針の共有化

#### 取組3 上中アフタースクール

- ①上中サークル
- 生徒の興味・関心を広げ、創り出す楽しさを実感する支援
- ②自主学習ルーム S-class
- 放課後の学習支援の場としてテスト前などに開設

#### 取組2 学び方に合わせた支援

- ①自分のペースで学べる校内フリースクール（相談F）の充実
- ②ICT機器の効果的な活用のための研究と実践

#### 【上中コミュニティ】

学校運営協議会



#### 上中応援団

読み聞かせの会 PTA 同窓会 地域住民など

#### 【人権意識の高揚】

- ・生徒憲章 ・人権宣言
- ・道徳の授業の充実

評価指標 工夫して自学に取り組んでいる（70%以上） 相談しやすい先生がいる（80%以上）  
いじめに起因する不登校生徒（ゼロ） 地域のためにできる活動を考えている（70%以上）



## 学校目標

## 自ら学び 認め合い 未来を創る子ども

- (1) 生徒主体の学校づくり
- (2) 子どもの視点に立った質の高い授業づくり
- (3) 多様性を包み込む温かな人間関係づくり
- (4) 不安を抱えている生徒への丁寧な対応  
スクリーニング会議・支援会議  
サポートルーム（校内中間教室）の充実



どんなときも生徒を中心に置いて、生徒主体の活動となるよう支援します。まっすぐで、全力で活動しようとする生徒の姿は、諏訪中学校の誇りです。

### 生徒の誇り

- ◆諏訪中学校三本柱 「あいさつ」「合唱」「清掃」
- ◆生徒会活動 本年度スローガン「自発」  
(一人ひとりの意見や思いを大切に活動)  
先輩の取り組みから学ぶ後輩。  
縦割り〇〇 シェア響 シェアプレイス



### 地域の方から学ぶ

- ◆コミュニティースクール（裏面に組織図あり）  
小中合同学校運営協議会の設置  
☆地域の意見を取り入れ学校支援につなげる  
(協議会メンバー)  
公民館長・区長・社会福祉協議会・  
地域企業など  
☆小中のボランティアの方々の連携



### ◆未来を創る活動

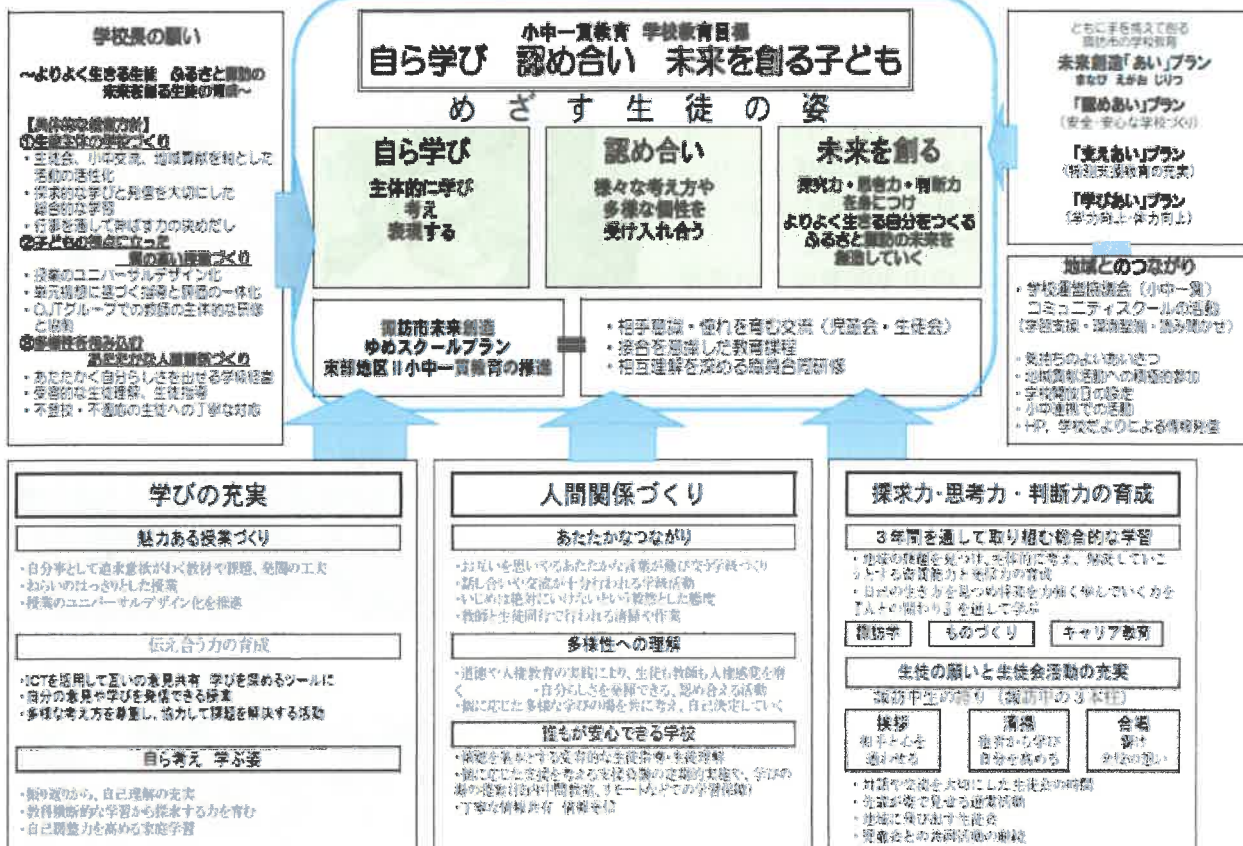
- ☆職場体験学習・地域密着ものづくり講座・  
ドキドキだっこ・ニコウキスグ植栽・防災教育・チャレンジショップ・さざなみの家との交流等  
⇒ 地域から学ぶ・地域で学ぶ・地域の人から学ぶ そして、生徒みんなで考える「地域貢献活動」へ
- ☆諏訪学 1年：諏訪巡り 2年：自然体験学習 3年：講座別学習  
⇒ 探究的な学びと発信を大切にしたい総合的な学習
- ☆相手意識に立つものづくり科  
⇒ 卒業制作では、すわっチャオ様・市図書館様等から受注したものを相手意識に立って丁寧に作製し、納品します。



### 施設分離型小中一貫教育校として

生徒会と児童会の交流・連携推進…あいさつ運動 〇〇週間 読み聞かせ 等  
教員間の交流…教科会、部会の発足、ジョイントカリキュラム作成、行事への参加





(国型コミュニティスクール) 城南小・諏訪中 合同学校運営協議会 (組織図)

